

Body in Pieces

ばらばらになった身体

東京国立近代美術館 ギャラリー4
2006年8月5日[土] - 10月15日[日]

東京国立近代美術館は、2006年8月5日[土]-10月15日[日]の会期で、コレクションを用いた小企画展示「ばらばらになった身体」展を開催いたしますので、お知らせいたします。



1 アルフレッド・スティーグリッツ 《ジョージア・オキーフ：ある肖像—手と指貫》1919年
©The National Museum of Modern Art, Tokyo, 2006

プレス用イメージ・取材、展覧会内容など報道関係のお問合せ先
ギャラリー4 担当係

TEL: 03-3214-2561 / FAX: 03-3214-2576

e-mail: pr-f@momat.go.jp

〒102-8322 東京都千代田区北の丸公園3-1

| | |
|------|---|
| タイトル | ばらばらになった身体 |
| 会期 | 2006年8月5日[土]—10月15日[日] |
| 開館時間 | 午前10時から午後5時まで 金曜日は午後8時まで（入場はそれぞれ閉館30分前まで） |
| 休館日 | 月曜日（9月18日、10月9日は開館、翌日休館） |
| 主催 | 東京国立近代美術館 |
| 会場 | 東京国立近代美術館 本館ギャラリー4 （2階） 東京メトロ東西線竹橋駅1b出口 徒歩3分 〒102-8322 東京都千代田区北の丸公園3-1 |
| 観覧料 | 一般420（210）円、大学生130（70）円、高校生70（40）円 （ ）内は20名以上の団体料金。いずれも消費税込 *本展の観覧料で、「所蔵作品展 近代日本の美術」もご覧いただくことができます 小・中学生、65歳以上無料 8月6日、9月3日、10月1日は無料（「ばらばらになった身体」展、所蔵作品展のみ） |
| イベント | キュレーター・トーク（蔵屋美香 本展企画者・主任研究員） ① 8月25日[金] 18:00～ / ② 9月9日[土] 11:00～ 予約不要・聴講無料（要観覧料） |
| お問合せ | 03-5777-8600 （ハローダイヤル） http://www.momat.go.jp （東京国立近代美術館ホームページ） |
| 同時開催 | ◆ 「モダン・パラダイス展 大原美術館+東京国立近代美術館—東西名画の饗宴」 2006年8月15日[火]—10月15日[日] 東京国立近代美術館 企画展ギャラリー（1階） 観覧料：一般1300（1100/900）円 / 大学生800（700/500）円 高校生400（300/250）円 / 小中学生無料 （ ）内は前売 / 20名以上の団体料金の順。いずれも消費税込 ◆ 「所蔵作品展 近代日本の美術」2006年8月5日[土]—10月15日[日] 東京国立近代美術館 所蔵品ギャラリー（4階—2階） 観覧料：一般420（210）円、大学生130（70）円、高校生70（40）円 （ ）内は20名以上の団体料金。いずれも消費税込 * 「モダン・パラダイス展」観覧券で当日に限り「ばらばらになった身体」展 および「所蔵作品展 近代日本の美術」をご覧いただけます |

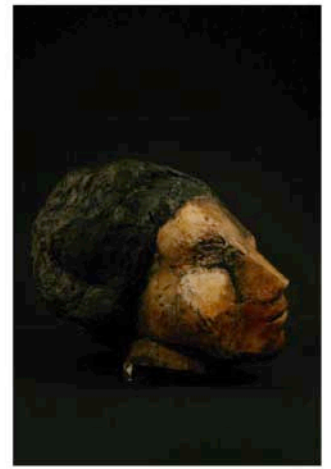
◇展覧会趣旨◇

頭、胸、胴、腕、手、脚——美術家たちはしばしば、身体の一部だけを切り取って、人間像を表してきました。

たとえば頭部。とくに愛する人の頭部を身体他の部分から切り離す表現は、長く美術家たちに好まれてきました。洗礼者ヨハネの首を持つサロメのすがたが示すように、相手のもっとも大事な部分を完全に自分の手の中に収めたい、という思いが、こうした表現の原動力となっているのかもしれません。



II 陽成二《サロメ》1928年



III マルクス・リュペルトツ
《ヘラの頭部》2003年
©Markus Lüpertz, 2006

あるいは手。こちらに触れるやさしい感触を呼び覚ます手は、やはり美術家たちの深い愛着の対象として、しばしばクローズアップで描き出されます。

またはトルソ（頭部や腕、脚など身体の一部を省略して作られた作品）。重要な部分が欠けているという欠落感は、かえってそこにはないものを補おうとする想像力を刺激します。

さらに、都市の孤独な生活の中で、ふと自分の身体がばらばらになる恐怖に襲われる、そんな感覚をとらえて表現した作品もあります。



IV
山本豊市
《エチュード》1959年

この展覧会は、当館の所蔵品の中から選んだ彫刻、写真、絵画など約25点によって、「ばらばらになった身体」というテーマをさまざまな角度からご紹介するものです。

アルフレッド・スティーグリッツ、セバスチャン・サルガド、アレクセイ・フォン・ヤウレンスキーといった海外作家から北脇昇、大辻清司、河原温といった日本人作家まで、時代的にもジャンルのにも多岐にわたる当館のコレクションの一端をご覧ください。



V セバスチャン・サルガド
《セラ・ペラダ金山》より 1986年
2006 ©Sebastião Salgado/Amazonas images